

## ふるさとのみなさんへ 東都高原富士見会だより



舟田 二郎  
(富里出身)

東都高原富士見会会則に「会員相互の親睦と交流を図り、故郷と提携して富士見

町の発展に寄与することを目指す」とあります。私は富士見町文化活動に役立ちたいと思い、文化祭に絵を15年連続出品してきました。

2009年には富士見高原のミュージアムにて「東山泰青能画展」を富士見町教育委員会・高原のミュージアム主催で開催していただきました。主催者の意向で小鼓・金剛流謡曲本・能の説明文・扇等を絵の前に展示しました。絵画の芸術性は元より2003年日本で初めてユネスコにより「世界無形文化遺産」に登録された「能」を富士見町の文化向上に役立ててもらいたいという思いがあり、多少は達成できたと思います。

また、今年の8月は地元所沢市の小手指市民ギャラリーで能画の個展を開催しました。富士見町高原のミュージアムの個展と同じく、小鼓・金剛流謡曲本・能の説明文などを絵の前に展示しました。通院しているお医者さんや看護婦さんをはじめ、足腰の悪い患者さんや近所の方々が大勢見に来てくれたこと、さらには「小鼓を生まれて初めて叩いた！」と喜ぶ人もいて、大成功でした。能画と能楽品のコラボを計画した高原のミュージアムの方のお陰です。お礼申し上げます。

追：今年の文化祭では、東都高原富士見会作品展示の場所において、町のご好意により広い展示スペースをいただきました。お客様で多くの作品を展示できました。改めてお礼申し上げます。

## 暖房器具の取り扱い

問 富士見消防署 予防係 ☎61-0119

12月に入り日中の冷え込みも厳しくなってきました。皆様のご家庭でも暖房器具の使用が増えてきていると思います。空気が乾燥するこの時期は、火災が発生しやすく1度火災になるとすぐに延焼拡大してしまいます。また、昨今では節電志向により、燃焼式暖房器具の使用機会が増えてきています。火気の取り扱いや暖房器具の使用時は次の点に気をつけましょう。



- ストープの周りに燃えやすい物を置かない。
- 給油時は必ずストーブを消火したことを確認する。
- カートリッジタンクの蓋が確実に閉まっているか確認する。
- スプレー缶等を暖房器具の近くに置かない。
- 電源コードの上に重量物を置かない。
- ストープの上で洗濯物を乾かさない。
- 石油ストーブ使用中は1時間に1～2回は換気をする。
- 就寝時、外出時には電源プラグをコンセントから抜いておく。

冬に欠かせない暖房器具ですが、使い方を誤ると火災に発展する危険性があります。「誤使用・不注意」による火災を未然に防ぐため火災予防を心がけましょう。また、何か使用中に異変、異常を感じたら直ちに使用を止め、お近くの販売店、専門業者に相談しましょう。

## 姉妹町 西伊豆だより

## 2013 西伊豆キャンドルナイト

西伊豆町宇久須地区では、かつてガラスの材料となる珪石を産出し、国内の板ガラス約90%のシェアを占めていました。現在でも、建材用の材料として珪砂を生産しています。黄金崎クリスタルパークには、珪石の展示や当時の作業風景などの写真を展示しています。

また、今ではガラス作家の方々が西伊豆町に住み、制作活動を行っています。そのガラス作家の方で作られている「西伊豆在住ガラス作家の会」では、毎年冬至に、「キャンドルナイト」を開催しています。黄金崎クリスタルパーク屋外を会場に、ガラス作家の方々が一つひとつ手作りした400個以上のキャンドルホルダーを思い思いに飾り、キャンドルに火を灯します。

日没とともに、色とりどりのキャンドルが浮かび上がり、ろうそくの暖かな炎に照らされたキャンドルホルダーはとても幻想的な雰囲気を醸し出します。



当日は、おにぎりやパンの販売のほか、黄金崎クリスタルパーク企画展示室では「西伊豆ガラス作家展」を開催します。昼間とは違う「西伊豆」をぜひお楽しみください。

◆ 12/22(日) 午後5時～午後8時まで(雨天・強風中止)

問 西伊豆町 観光商工課 ☎0558-52-1114

◆ 「西伊豆ガラス作家展」 12/21より開催

問 黄金崎クリスタルパーク ☎0558-55-1515

